

# 復興計画の最終年度、 新たな未来へ向けたまちづくりを目指して。

**復興の総仕上げと、市内の均衡ある発展を見据えたまちづくりに取り組みます。**

震災発生から8年が経過しました。これまで多くの方々からご支援をいただきながら、復旧・復興に向けた事業に取り組み、昨年12月には災害公営住宅全655戸の整備が完了したほか、名取駅前には図書館、公民館の入居する再開発ビルも完成しました。また、今春には名取川沿いのにぎわい拠点「かわまちてらす開上」がオープンし、開上公民館などの施設も供用を開始する予定であり、復旧・復興事業は、目に見える形となって進んでいます。

平成31年度は、「名取市震災復興計画」の最終年度であり、復興の総仕上げの時期となります。沿岸部の復興に最後まで気を緩めることなく取り組みとともに、子育て世代が安心して子を産み育て、高齢の方も安心して暮らせるまちづくりを目指した予算を編成しましたので、その概要をお知らせします。

**【概要】**

平成31年度の一般会計当初予算は、314億200万円となりました。対前年度比としては11・6%の減となります。

歳入のうち市税では、過去最大の規模を7年連続で更新し、前年度比で0・4%の増となる113億7,273万円を見込んだところで、地方交付税は、前年度比で28・9%の減となる40億9,939万円となり、基金の繰入を除く一般財源全体では、前年度比8・3%減の189億603万円となりました。

歳出のうち震災関連事業費については、復興事業の進展に伴い、対前年度比69・4%の減となる38億7,195万円（一般会計予算の

12・3%）となりました。

一方、震災関連事業費を除く通常事業費については、子育て支援や教育環境の充実、道路整備など生活環境の充実のための費用をできる限り盛り込み、対前年度比2・6%の増となる275億3,005万円（一般会計予算の87・7%）となっております。

**【主な取り組み】**

○震災関連事業

①これまで開上地区へ支援をいただいた全ての方々に感謝する場として、また、震災で犠牲になられた方々を鎮魂するとともに、未来に向かうスタートラインとして、市をあげて「開上地区まちびらき」を開催します。

②子どもからお年寄りまで、誰も

平成31年度予算総額

**542億1,356万円**

会計別予算総括表

会計名	予算額	対前年度比(%)
一般会計 (うち震災関連分) (うち通常分)	314億200万円 (38億7,195万円) (275億3,005万円)	88.4 (30.6) (102.6)
特別会計	国民健康保険	65億5,911万円 97.9
	土地取得	1億4,245万円 83.3
	休日夜間急患センター	1億6,781万円 93.6
	介護保険	50億9,386万円 94.2
	後期高齢者医療	7億2,089万円 99.7
企業会計	復興区画整理	10億1,085万円 27.9
	水道事業	33億8,738万円 106.0
	下水道事業等	57億2,921万円 64.9
合計	542億1,356万円	85.1

※万円未満は、端数処理しています。  
※対前年度比などは、小数点第二位以下を四捨五入しています。

が手軽に楽しめる多目的グラウンドを名取川河川敷に整備します。

③開上児童センター、開上グラウンドの復旧整備に取り組みほか、開上地区のにぎわいを取り戻すサイクルスポーツセンターの整備にも本格着手します。

④開上地区定住促進事業として住宅取得補助金を交付することで、開上地区内の人口増加と活性化を図ります。

○通常事業

①名取市におけるあらゆる施策の最上位計画として、平成32年度からの11年間を期間とする第六次長期総合計画の策定に取り組みます。

②子育て世代に対する支援として、イオンモール名取に子育て支援拠点施設を開設し、新たに交流事業

や相談事業などに取り組みます。

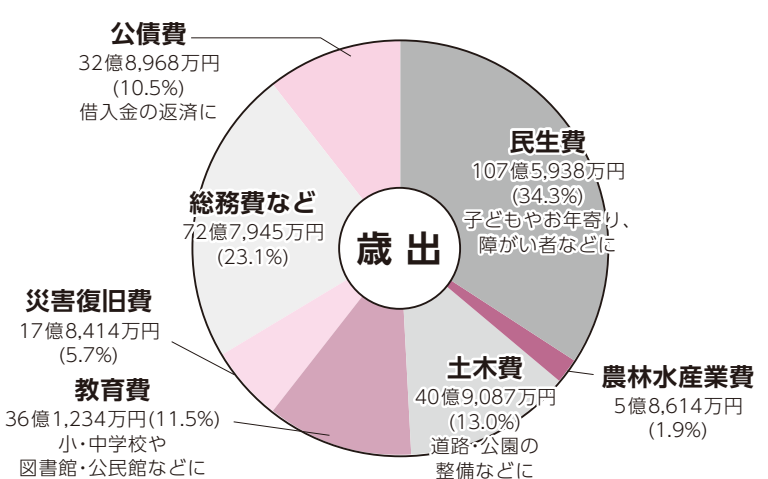
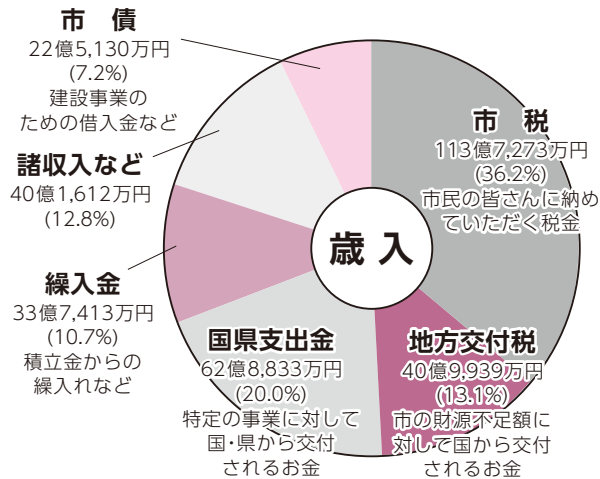
③宗教や宗派にとらわれない墓地を求める市民ニーズにこたえるため、平成32年7月の一般利用に向けた公営墓地の整備に取り組みます。

④不登校傾向にある児童・生徒への初期対応や自立支援を学校等関係機関と連携して行うため、子ども心のケアハウスを設置します。

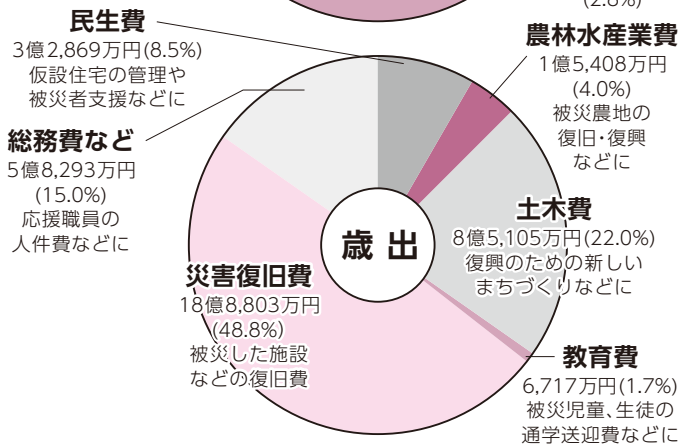
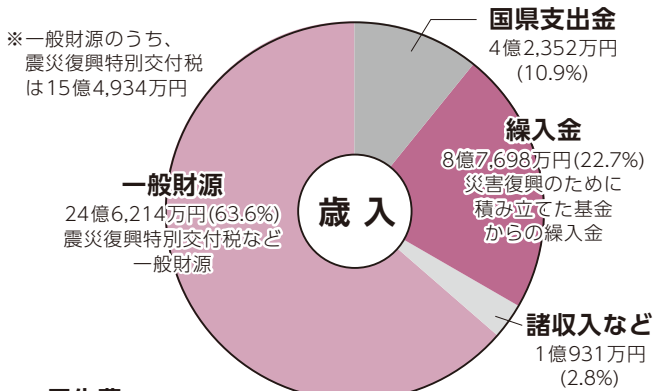
⑤郷土の歴史・文化遺産の価値や魅力を次世代へと適切に保存・継承していくための(仮称)歴史民俗資料館整備事業に取り組みます。

⑥子ども医療費助成について、引き続き中学校3年生までの医療費を助成し、子育て世帯の経済的な負担の軽減に取り組みます。

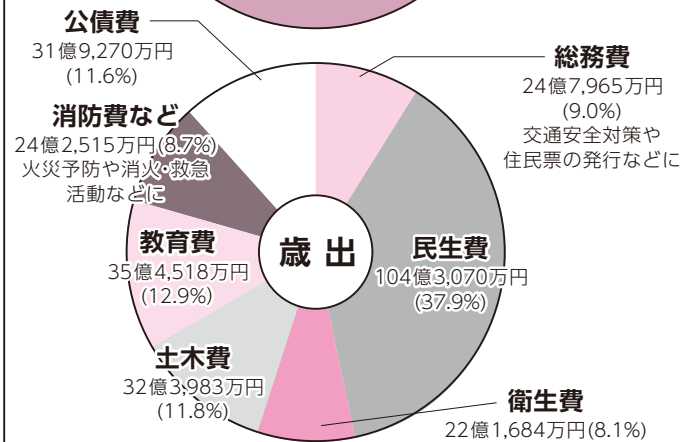
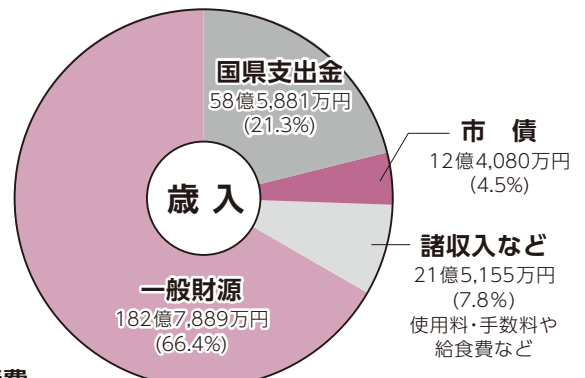
# 一般会計歳入歳出総額 314億200万円



## 震災関連事業の内訳 総額38億7,195万円



## 通常事業の内訳 総額275億3,005万円



■問い合わせ ■財政課財政係 ☎724-7155

### 《用語の説明》

■一般会計と特別会計 税などにより運営する市町村の基本的な会計を一般会計、保険料などにより運営する一般会計から独立した会計を特別会計、特別会計のうち水道事業など公営企業にかかるものを企業会計といいます。

■地方交付税 市町村の標準的な経費を賄うための財源に不足が生じる場合、所得税など国税の一定割合から地方交付税として交付されます。震災後、震災による特別な行政需要がある場合には、震災復興特別交付税として通常分とは別枠で交付される仕組みができました。

■一般財源と特定財源 市税や地方交付税など、用途を限定されない、市が自由に使えるお金を一般財源といいます。一方、国庫支出金や市債など、特定の目的のために歳入されるお金を特定財源といいます。

# 通常事業 275億3,005万円

## <総務費>

### ●第六次長期総合計画等策定事務 1,348万円

名取市におけるあらゆる施策の最上位計画として、復興後の新たな未来に向けたまちづくりの指針となる第六次長期総合計画及び第五次国土利用計画の策定に取り組みます。

### ●こどもファンド事業 155万円

こども達が主体となり提案し実施する事業を通して、将来の地域活動における人材の育成を図ります。

### ●公衆無線LAN整備事業 756万円

インターネット利用環境の充実を目指し、市民体育館、公民館に公衆無線LANを整備します。

## <民生費>

### ●私立認可保育所・認定子ども園等運営事業 15億 2,855万円

私立認可保育所や認定子ども園等に対して、施設型給付費を措置するとともに延長保育や一時預かり等にかかる取組を支援します。

### ●子育て支援拠点施設管理運営事業 1,729万円

イオンモール名取に子育て支援拠点施設「cocol' ll(ここいる)」を開設し、交流事業、相談事業、イベント開催などに取り組みます。

### ●子ども医療対策事業 4億 3,328万円

中学3年生までの子どもの医療費の一部負担金を引き続き助成することにより、子どもたちの適正な医療機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図ります。

## <衛生費>

### ●予防接種事業 2億 1,330万円

これまでの予防接種事業に加え、生後6週から32週までの乳児が受けるロタウイルス予防接種に対し費用の一部を助成します。

### ●不妊治療費助成事業 1,245万円

出産を希望する夫婦への支援として、女性向け特定不妊治療費助成及び男性向け不妊治療費助成を行います。

### ●みちのく潮風トレイル事業 700万円

日本最長のロングトレイル「みちのく潮風トレイル」の本部として環境省が関上に整備する名取トレイルセンターの運営に参画し、関上の賑わい創出に向けた取組を進めます。

### ●墓地整備事業 1億 4,060万円

宗教や宗派にとらわれない墓地を求める市民の方々のために、平成32年7月の一般利用に向けた、公営墓地の整備に取り組みます。

## <農林水産業費>

### ●農地中間管理事業 975万円

地域内に分散・錯綜する農地を担い手へ集積・集約化し、農業構造改革と生産コストの削減を図ることで農業の競争力を強化します。

### ●森林病害虫防除事業 807万円

市内で生じる森林への松くい虫およびナラ枯れ被害についての対応に取り組みます。

## <商工費>

### ●ふるさと寄附金特産品取扱事業 1億 7,984万円

ふるさと寄附金を通して、地域産業の振興を図るため、市の特産品等を送付するふるさと寄附金特産品取扱事業に引き続き取り組みます。

### ●企業立地等奨励金 9,063万円

名取市への進出を意向する企業に対し、企業立地奨励金を交付することで、企業誘致を推進します。

### ●産学官連携等促進事業 100万円

市内の事業者が大学等の教育機関との連携により、新製品等の研究・開発を行う際に、それらの費用の一部に対し補助を行います。

## <土木費>

### ●道路新設改良事業 9億9,532万円

歩行者安全対策として浜街道線や名取が丘中央大通り線の整備に引き続き取り組むほか、渋滞緩和と市街地間の相互連絡のために熊野堂柳生線の整備を進めます。

また、身近な生活道路についても改良を進め、安全で住みよい生活環境の構築を図ります。

### ●公園整備事業 4,010万円

老朽化した市内各地の公園遊具を更新し、安全・安心な都市環境の整備に努めます。

### ●下水道整備事業(下水道事業等会計) 13億 2,189万円

市民の生活環境の向上を目指し、事業認可区域内の幹線、枝線の整備を進めるとともに、雨水管きよの整備にも取り組むことで、冠水被害の軽減を図ります。

## <消防費>

### ●救急高度化事業 4,640万円

新たに高規格救急自動車を整備するほか、救急救命士の新規養成と指導的立場の救急救命士の養成を行います。

## <教育費>

### ●子どもの心のケアハウス運営事業 2,308万円

不登校傾向にある児童・生徒への初期対応や自立支援を学校等関係機関と連携して行うため、「子どもの心のケアハウス」を設置します。

### ●夢サポート事業 140万円

市内の中学生が将来を考える機会とするため、各分野で活躍される方を講師に迎え、講演会を実施します。

### ●(仮称)歴史民俗資料館整備事業 1億 7,900万円

郷土の歴史・文化遺産への理解促進や体験学習などの学習機会を拡充し、その価値や魅力を次世代へと保存・継承していくための(仮称)歴史民俗資料館整備事業に取り組みます。

### ●復興ありがとうホストタウン事業 170万円

東京五輪の開催を契機に、震災以降、支援をいただいたカナダを相手国とする、ホストタウン事業に取り組みます。

# 震災関連事業 38億7,195万円

## 生活再建支援事業 4億6,402万円

### ●被災者生活支援事業

1億 6,026万円

応急仮設住宅にお住まいの方や住宅再建者の方に対し、生活相談員を配置し、健康や生活全般に関する相談・支援体制の充実を図ります。

また、常設のサロンを引き続き設置し、住宅再建された方などを対象にコミュニティ支援を行います。

### ●スクールソーシャルワーカー活用事業

288万円

被災した児童生徒が抱える様々な問題に対応し、安心して学校生活を送ることができるように教育相談体制の充実を図ります。

### ●災害被災者追悼事業 600万円

東日本大震災で亡くなられた方に哀悼の意を表するために、被災者追悼式を開催します。

### ●震災遺児孤児奨学金支給事業

764万円

各地から寄せられた寄附金により設置した基金から、震災で親を亡くされた遺児および孤児の学業を支援するための奨学金を支給します。

### ●被災児童・生徒就学支援事業

1,482万円

震災で就学困難となった児童・生徒の教育機会の確保のため、学用品費や給食費にかかる支援を行います。

## 震災復興事業 15億1,990万円

### 新しいまちづくり

#### ●津波浸水区域被災住宅再建支援事業

2億 2,460万円

津波浸水区域で被災され、住宅が全壊、大規模半壊の方などが、住宅を再建するため借り入れた資金の利子相当額の補助を行うほか、引越し費用なども助成します。

#### ●名取川河川敷多目的広場整備事業

4,500万円

国土交通省との連携により進めている、「閉上かわまちづくり事業」の一環として、子どもからお年寄りまで誰もが手軽に楽しめる多目的グラウンドを、名取川河川敷に整備します。

### 産業の復興

#### ●商工業の復興

7,220万円

仮設店舗・仮設工場に対する支援を継続するとともに、土地や建物を賃借し事業を行っている被災事業者に対し賃借料を助成します。

また、閉上地区内に再建する被災事業者に対し、設備費などの費用の一部を補助します。

#### ●水産業の支援

219万円

赤貝、シラスに続くブランドの創出として、新たにワカメの養殖を行う水産業の支援に取り組みます。

#### ●閉上東地区事業用地高上げ等

助成事業

3,550万円

閉上東地区被災市街地復興土地区画整理事業区域内において、震災前から土地を所有していた事業者が津波浸水対策にかかる費用を助成することで、事業の再開を支援します。

### その他の復興事業

#### ●閉上地区まちびらき事業

1,500万円

復興が進む閉上全体を会場に、ステージや屋台、新鮮な閉上の海の幸や名取の地の物、商業者の皆さんが再建した「かわまちてらす閉上」など、閉上と名取の魅力があふれるまちびらきを行います。

#### ●閉上地区定住促進事業

1,150万円

閉上地区の人口増加と地域の活性化を促進するため、住宅取得補助金を措置するほか、移住・定住促進のため、プロモーションの強化にも継続的に取り組みます。

震災復興事業については、一日も早い復興を進めるため、順次補正予算を編成して早急に行うこととしています。

## 災害復旧事業 18億8,803万円

#### ●閉上児童センター等災害復旧事業

3億 1,473万円

震災以降、休止している閉上児童センターおよび閉上児童遊園の復旧整備を行い、児童に安全な居場所と健全な遊びを提供します。

#### ●サイクルスポーツセンター

災害復旧事業 13億 1,652万円

平成32年秋の開業に向け、本市の復興のランドマークとなるサイクルスポーツセンターの復旧整備に本格着手します。

#### ●スポーツ施設災害復旧事業

(閉上グラウンド) 1億 5,160万円

野球、ソフトボール、サッカーなどを行うことができるグラウンドを閉上地区に復旧整備します。